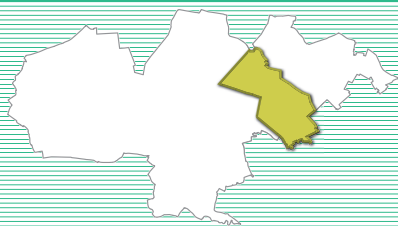


3 大塚地域



都電と沿線のバラ



1 地域の特徴

（1）位置

区の東部に位置する北大塚1丁目から3丁目、南大塚1丁目から3丁目、西巣鴨1丁目及び上池袋1丁目の区域です。北東側は巣鴨・西巣鴨地域、南西側は池袋東地域、北西側の環状5の1号線（明治通り）以西は池袋本町・上池袋地域、南東側は文京区に接しています。

（2）市街地の変遷

江戸時代、現在の新大塚駅周辺は巣鴨辻町と呼ばれ、大都市江戸の一部に含まれていました。春日通りと白山通りの間の平地部は主に田畑でしたが、折戸通り沿いに集落が形成されていました。

明治時代になり市街化が進み、明治36（1903）年に大塚駅が開設され、明治44（1911）年「王子（飛鳥山上）～大塚」間で都電荒川線が開業しました。戦前は都内有数の繁華街として、にぎわいをみせていました。

しかし、戦災により地域の大半が被害を受け、大塚駅周辺は戦災復興土地区画整理事業が実施されました。その他の区域は、戦前の幅員が狭い道路のまま建築物が再建されました。昭和30（1955）年代以降、次々と都電が廃止となる中で唯一、「三ノ輪橋～早稲田」間を走る都電荒川線が残っています。

図表5-19 大塚都電車庫



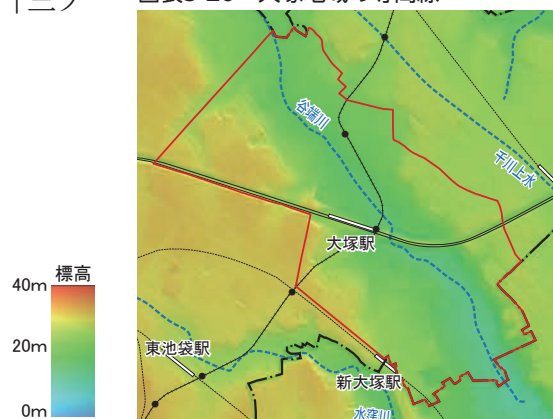
画像提供：豊島新聞社

（3）主な景観要素

①地形・自然

- 現在では暗渠となった谷端川に削られて形成された谷状の地形です。
- かつての谷端川の流れは、現在、緩やかに湾曲した道筋に見て取ることができます。

図表5-20 大塚地域の等高線



資料：基盤地図情報数値標高モデル(国土地理院)をもとに作成

②歴史・文化

- 旧巣鴨村の鎮守である天祖神社には、夫婦銀杏のほか、稲荷、熊野、三峯、榛名の各神社があります。
- 大塚駅周辺は、戦前からの繁華街として商業施設や映画館、寄席などが集まり、にぎわってきました。
- 昭和初期からの花町であった大塚三業地⁵³では、今でも料亭などがわずかに残っています。
- 西巣鴨中学校前周辺の桜並木では、さくらまつりが開催されています。

③まち・界隈

- 大塚駅周辺は、商業・業務機能が集積するとともに、南北自由通路が開通し、利便性と快適性が向上しました。
- 土地区画整理事業が実施された地区や明治通り沿いでは、街区が大きく、中高層のマンション等が立地しています。
- J R山手線の土手や橋からの眺め、都電が走る風景と沿線のバラなど、鉄道と都電が地域の魅力となっています。

④人々が織りなす魅力

- 大塚駅周辺や都電沿いでは、地域の人々が緑化や美化活動に取り組んでいます。
- 東京大塚阿波おどりやおおつか音楽祭、大塚バラまつりなど、個性的な祭りやイベントが開催されています。

図表5-21 天祖神社の夫婦銀杏



図表 5-22 三業地の料亭



図表5-23 おおつか音楽祭



2 景観まちづくりの視点

- 鉄道と都電が交差する大塚駅周辺では、区内外から人々が集う拠点にふさわしい魅力を備えた景観形成が必要です。
- 東京大塚阿波おどりやおおつか音楽祭など、地域による祭りやイベントを生かした風景づくりが必要です。
- 大塚駅周辺や都電沿いの緑化活動を地域全体に広げ、季節の花々が彩る街並みづくりが必要です。

53 三業：料亭、待合、置屋(おきや)の3業態が揃ったところ

3 景観まちづくり方針

1 ゆとりと潤いを創出する

- 西巣鴨中学校前の桜並木、大塚駅から春日通りまでの都電沿いのバラなどによって、四季を彩る景観を創出します。
- 暗渠となった谷端川の流れが、道筋で感じられる街並みをめざします。
- J R山手線に向かい緩やかに続く谷状の地形を生かしながら、街並みを楽しむことができる景観をめざします。

図表5-24

西巣鴨中学校前周辺の桜並木



2 歴史を受け継ぎ、新たな文化を創造する

- 天祖神社や東福寺、菅原神社などを地域の資源として、次世代へ引き継ぎ、歴史を感じられる景観を形成します。
- 東京大塚阿波おどりやおおつか音楽祭など、地域によるイベントに人々が集い、楽しむ姿を風景として育みます。
- 大塚三業通りでは、かつての面影を残す料亭などを生かして、当時のにぎわいを偲ぶことができる街並みをめざします。

図表5-25 東京大塚阿波おどり



3 人々の生活・営みを映す

- 大塚駅周辺は、区内外から人々が集まる交流拠点として、にぎわいや活力を感じられる景観を創出します。
- 新大塚駅周辺は、地域の人々が活発に交流し、にぎわう生活拠点にふさわしい街並みを形成します。
- 大塚駅周辺や折戸通りなどの商店街は、親しみを感じられる街並みをめざします。

図表5-26 JR大塚駅北口



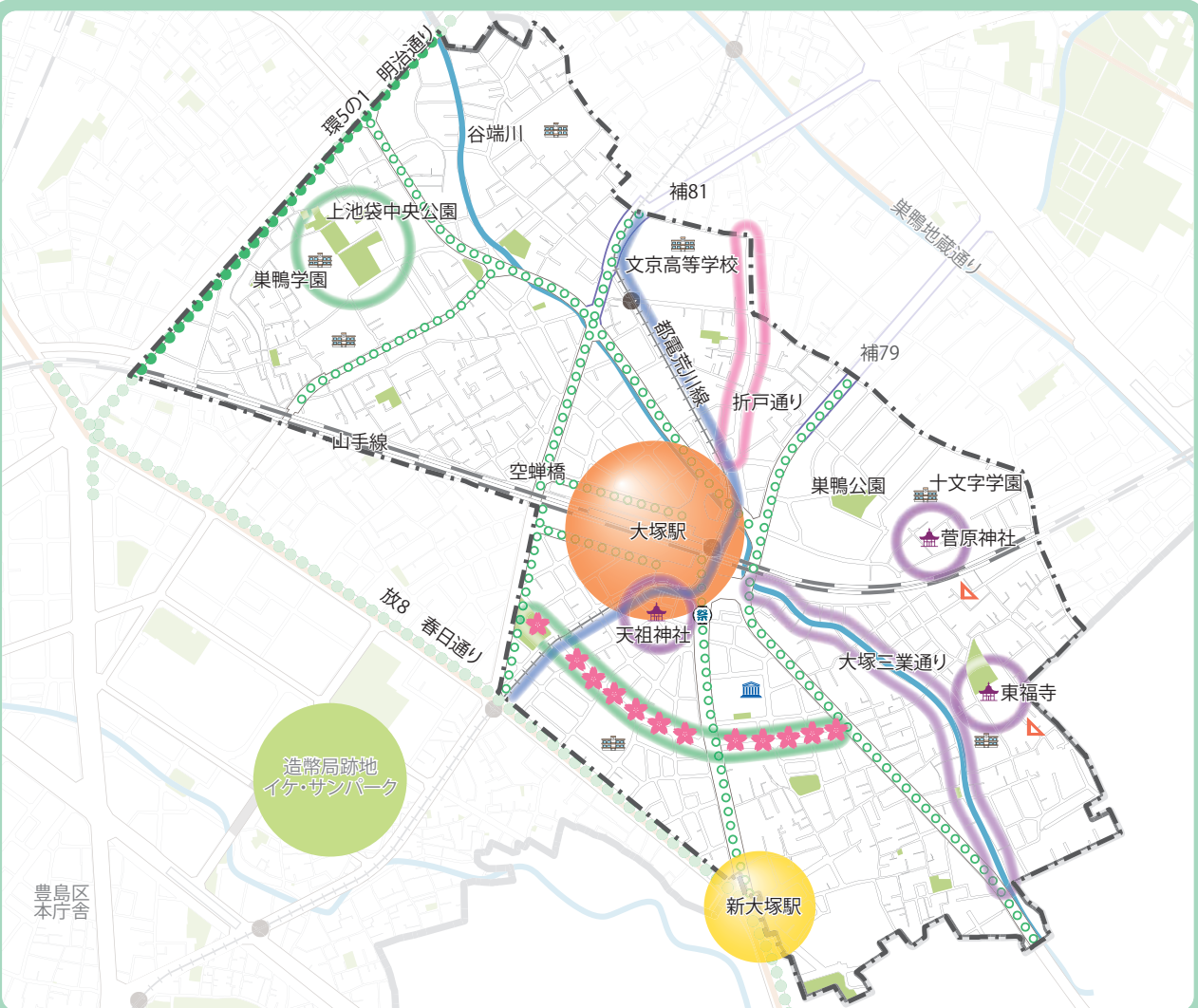
4 地域の特性を惹き立てる

- 都電が走る姿を惹き立てるため、街中の彩りや車窓からの眺めに意識した景観形成をめざします。
- 明治通り及び春日通り沿道は、みどりの潤いを感じられる、安全で快適な歩行者空間を形成します。
- 造幣局移転後に整備される防災と文化、交流機能を備えた拠点を中心に、大塚と池袋副都心、雑司が谷を結ぶ、新たな人の流れを生み出します。

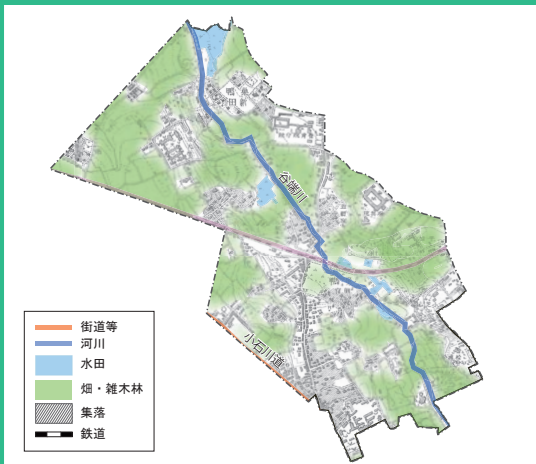
5 個性ある街並みを創出し、楽しめる仕組みを構築する

- 都電沿いの緑化活動や地域によるイベントなどと連携し、景観まちづくり活動に取り組んでいきます。

図表 5-27 大塚地域の景観まちづくり方針図



明治42(1909)年の市街地の様子



出典：豊島区地域地図第四集 2011、豊島区史跡めぐり

凡例

	ゆとりと潤いを創造する
	歴史を受け継ぎ、新たな文化を創造する
	人々の生活・営みを映す
	地域の特性を惹き立てる
	個性ある街並みを創造し、 楽しめる仕組みを構築する (全城)

	鉄道駅周辺
	みどりの骨格軸
	みどりの回廊(幹線道路)

	坂		文化資源		みどりの回廊(街路樹)
	寺社		新たな文化拠点		鉄道(JR)
	花の名所		旧道		鉄道(東武・西武)
	大学		旧河川		都電
	教育施設		神田川		都市計画道路未着手区間
	祭り		公園など		